

シンポジウム

希 望 を

時



—— アグロエコロジーへの誘い ——

アグロエコロジーの先駆者のひとりとして知られる農民作家・思想家：ピエール・ラビ。さまざまな社会層から、講演がひきもきらない彼の思想やアグロエコロジーのもつ意義、日本における可能性について、ラビに惹かれる3人が語る。

★ 日時：2017年9月30日(土) 16時半～20時(開場16時)

★ 場所：明治学院大学白金キャンパス本館 10階大会議場

★ 主催： commons

★ 後援：アジア太平洋資料センター(PARC)、  
全国有機農業推進協議会、日本有機農業学会、  
明治学院大学国際平和研究所

資料代：700円 事前申し込み：不要

※明学関係者(学生・教職員)は無料

<パネリスト>

★ ■ 勝俣 誠 (元・明治学院大学教員)

★ ■ ルロン 石原 ペネロプ  
(フランス国立東洋文化研究所 日本研究センター博士課程)

★ ■ 辻 信一 (文化人類学者、明治学院大学国際学部教員)

ピエール・ラビ (Pierre Rabhi) について

1938年、アルジェリア西部の小村ケナッサ生まれ。フランス国籍。21歳のときに渡仏し、パリに住む。1961年に中南部のアルデシュ県に移住し、現在に至る。アグロエコロジーの先駆者のひとりとして知られる農民作家・思想家。1968年の五月革命以降、研修生を受け入れ、農業技術に加えて、ライフスタイルや世界観も語るようになる。今日では、さまざまな社会層から講演がひきもきらない。邦訳に『良心的抵抗への呼びかけ——地球と人間のためのマニフェスト』(武藤剛史訳、四明書院、2015年)。



お問い合わせ：commons TEL: 03-5386-6972. e-mail: ooe@commonsonline.co.jp

